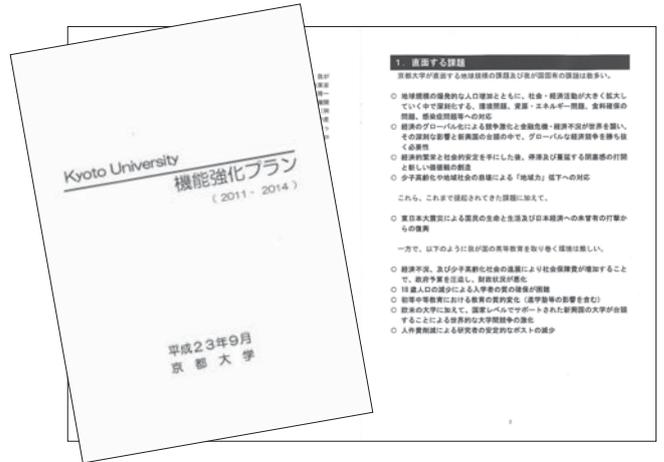


## 平成23事業年度のトピックス

### 「京都大学機能強化プラン(2011-2014)」の公表

わが国が直面している、長期にわたる経済の停滞や財政構造の悪化、少子高齢化の進行など極めて厳しい状況・困難を克服し、安全かつ安心な社会を構築するためには、社会のあらゆる分野において知の継続的な革新を図り、次世代を担う卓越した人材の育成を計画的に実現できる教育研究組織を整備・維持することが不可欠です。このように、わが国および高等教育を取り巻く国内外の環境が急激に変化し、また、国際間の競争も一層激化する中、本学においても、本学の果たすべき役割や特色等、機能強化について検討し、教育・研究・社会との関係についてその責務を十全に果たすための今後3年間の取り組み等を取りまとめた「京都大学機能強化プラン(2011-2014)」を公表しました。

<閲覧等は下記URLからご覧ください。>  
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/operation/plan>



「京都大学機能強化プラン(2011-2014)」より

### 「京都大学ファンブック」を発行

本学では、卒業生を中心とした大学支援者との連携強化、公開講座等による社会への情報発信や地域連携等に力を入れています。京都大学が展開する卒業生および一般市民のみならずへ向けたアウトリーチ活動について知っていただくため、「京都大学ファンブック」を作成しました。

公開講座などの一般のみならずへ向けたイベントを始め、卒業生インタビューや地域同窓会の紹介といった卒業生向けのコンテンツも充実しています。また、京都大学同窓会Facebookや、本学の卒業生のためのネットワークシステム「京都大学アラムナイ」など、京都大学と卒業生のみならずをつなぐサービスについても紹介しています。

「京都大学ファンブック」は、公開講座や同窓会のイベントで配布されています。また、本学の東京地区における情報発信の拠点である京都大学東京オフィス(東京都港区)でも入手が可能です。



「京都大学ファンブック」より

### 研究支援体制の強化

文部科学省事業(研究支援体制整備事業費補助金)の「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業に採択されました。この事業は、大学等が、研究開発に知見のある人材をリサーチ・アドミニストレーター(URA)として活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ることをもって、大学等における研究推進体制の充実強化と外部資金の積極的獲得に資することを目的としたものです。

本学としては、これまでの研究支援体制をさらに強化するため、本学の研究者を支援し、協働で業務の推進に取り組む高度な専門知識・経験を有するURAを採用しました。新たに設置した学術研究支援室に、そのURAを配置し、研究水準のさらなる向上と研究成果の社会への還元を一層進めていく予定です。

URA支援活動	企画支援	運営・広報支援
研究プロジェクト	企画	運営
	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争的資金に関する公開情報を集約し提供します</li> <li>国の科学技術政策及び競争的資金の公募情報の収集・分析</li> <li>研究者のニーズに合った公募情報の提供</li> <li>活動例(平成24年度)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的創造的推進事業の情報の収集・提供</li> </ul> </li> <li>研究プロジェクトの形成を支援します</li> <li>研究プロジェクトの企画立案に関する情報提供</li> <li>学際融合実現に向けた学内ニーズの把握及び提供</li> <li>活動例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「オウゾラビオ」京大大学院との共同研究ニーズ調査・実施</li> </ul> </li> <li>競争的資金の申請を支援します</li> <li>申請書類の強化</li> <li>ヒアリング等室に向けた対策</li> <li>活動例(平成24年度)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的創造的推進事業</li> <li>科学研究費補助金 基盤研究(S)</li> <li>国際共同研究推進事業</li> <li>博士課程教育リーディングプログラム</li> <li>社会連携研究費(AICA)</li> <li>プログラム</li> <li>大学の世界競争力強化事業</li> <li>臨床研究・共同研究推進事業</li> <li>学際融合推進プログラム</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究プロジェクトの申請・事後評価への対応を支援します</li> <li>プロジェクト評価を企画し重いた</li> <li>研究マネジメントに関する助言と支援</li> <li>大型プロジェクト等の申請・事後評価に関する評価情報の提供</li> <li>評価に向けたヒアリング対応への助言と支援</li> <li>研究プロジェクトの広報活動を支援します</li> <li>研究活動の発表の場の提供</li> <li>双方向コミュニケーション活動のサポート</li> <li>双方向コミュニケーション能力の向上に向けた研修機会の提供</li> <li>活動例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「京都大学アカデミック」の開催</li> <li>「国研」の科学・技術支援の活動支援</li> </ul> </li> <li>研究プロジェクト終了後の継続性確保に向けた活動をサポートします</li> <li>研究プロジェクトの継続に向けたニーズ調査</li> </ul>

「学術研究支援室 活動概要図」より

## 清風荘の重要文化財登録

平成24年7月9日付けにて、本学が所有している清風荘が重要文化財(建造物)として指定されました。

清風荘は、元公爵西園寺公望の京都別邸として使用されていたもので、公望の没後は、住友家により保存されていましたが、本学創設当時の文部大臣で、公私ともに本学の創設に尽力した公望の遺徳を偲ぶため、昭和19年6月に住友家から本学へ寄贈されたものです。

清風荘庭園は、明治、大正時代にわたって作庭家として令名ある小川治兵衛氏の作庭で知られており、文化財保護法の規定により昭和26年6月9日に名勝として指定されています。



清風荘外観

## 大阪府教育委員会との連携協定並びに大阪府の進学指導特色校との連携協力の覚書締結について

本学と大阪府教育委員会との間で連携協定、並びに大阪府進学指導特色校(GLHS:Global Leaders High School)10校<sup>※</sup>との間で連携協力の覚書を締結しました。大学と高等学校が教育・研究上直面する諸課題を調査研究し、教育活動を支援することにより、優れたグローバル人材の育成に寄与することができる協力体制の構築・強化を目指しています。

(※)GLHS10校とは、北野、豊中、茨木、大手前、四条畷、高津、天王寺、生野、三国丘、岸和田の各大阪府立高等学校です。



「京都大学・大阪府教育委員会連携協定締結式」より

## 施設の整備

平成23年事業年度は、(中央)総合研究棟(旧工学部8号館)、(南部)総合研究1号館・再生研西館等の耐震機能改修工事等を実施し、本学の耐震化率が86%から89%に向上しました。

また、(中央)総合研究棟(旧工学部8号館)の耐震機能改修工事においては、地下にある中央食堂の改修工事も併せて行い、ホールの環境整備(座席数増、採光方式の改善等)やトイレの設置等を実施しました。



(中央)総合研究棟(旧工学部8号館)外観



(南部)総合研究1号館・再生研西館外観



中央食堂内装

## 重点事業経費について

### ●各種戦略的経費

本学では、教育・研究・医療活動の個性化と活性化のために戦略的・重点的に配分する経費を充実させ、総長および役員会のイニシアティブと責任によって特定課題の活動並びにそれらを支える基盤体制に重点的に予算を配分しています。

### ■部局運営活性化経費

平成22事業年度に創設した「部局運営活性化経費」について、平成23事業年度においては、「指標型」および「事業型」の2項目を設けました。

「指標型」では、中期目標・中期計画に基づく本学の重点課題に対して、各部局の積極的な取り組みの促進を目的として措置するもので、各部局が自ら設定した課題とその達成度について、数値目標等の指標を用いて評価し、その評価結果に基づき予算を措置し、「事業型」では、多様化する現代社会に対応した京都大学の教育研究の発展を支えるための組織見直しや改編、部局間の再編・統合等を行うために必要な事業に対して予算を措置しています。

### ●京都大学第二期重点事業実施計画

第2期中期目標期間(平成22～27年度)において、中・長期のおよび全学的視点から大学を運営するため、「京都大学第二期重点事業実施計画」を策定しています。

本計画では、東日本大震災に伴う被災学生に対する授業料免除による経済的支援、次世代を担う若手研究者の育成支援、桂キャンパスの整備、国際化事業のさらなる推進、女性研究者の採用促進の支援、国際的な京都大学ブランドの構築に向けた新しい情報発信の展開、危機管理体制の整備推進事業など、さまざまな事業に取り組んでいます。

### 平成24年度 各種戦略的経費

全学経費	全学共通経費	本学の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学として支援が必要な事業に措置するための経費
	特別協力経費	本学の国際力をより一層向上させるために各部局が取り組む事業や、各部局の個性・特色を生かした独自の取り組みに措置するための経費
	設備整備経費	各部局における教育研究医療活動全般に対する設備(概ね1億円以下)を整備するための経費
戦略的・重点的経費	総長裁量経費	総長のリーダーシップにより教育研究の一層の充実発展を図るための経費
	重点戦略経費	第二期重点事業実施計画
	第一期からの繰越積立金、目的積立金	教育研究及び医療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる第二期重点事業実施計画実現のための経費
	各所建物修繕経費	教育・研究・医療活動の基盤である施設等を、長期にわたり良好な状態で維持管理するため、修繕等を計画的かつ効率的に実施するための経費
部局運営活性化経費		大学全体の重点課題の克服に向け、各部局が部局長のリーダーシップの下に、その課題達成に向けて行う積極的な取り組みに対して措置するための経費(指標型)
		多様化する社会に対応し、本学における教育研究の発展を支えるための組織見直しや改編などを促進する取り組みに対して措置するための経費(事業型)
	産官学連携推進経費	産官学連携の推進に向けた取り組みを支援するための経費
基盤強化経費	全学機構運営基盤経費	全学機構等の業務を適正かつ機動的に実施するための経費
	全学施設運営費支援経費	全学施設の運営を支援するための経費
	教育研究設備等維持経費	教育研究活動の基盤となる共同利用施設等を支障なく稼働させるための維持管理を支援するための経費
	電子ジャーナル支援経費	学術情報の基盤となる電子ジャーナルのパッケージ購読費用に対して支援を行うための経費
学内貸付金		部局において、資金調達が困難な施設・設備の整備等のために、一時的に多額の資金を必要とする事業計画を支援するための資金

### 京都大学第二期重点事業実施計画 【平成22～24年度着手決定事業】

教育推進事業	オープンコースウェア(OCW)支援事業 教育環境改善事業 小中高大連携推進事業 ～サイエンス・コミュニケーター・プロジェクト～ キャリア支援充実化事業 経済的・身体的学生支援強化事業 身体障害学生支援強化事業 吉田南構内再生整備事業 ～学生寄宿舎の整備～ 東日本大震災に伴う被災学生に対する経済的支援事業 新大学院「思修館」施設整備事業 ～博士課程教育リーディングプログラム～ 学生寄宿舎整備事業(熊野寮)	広報・社会連携事業	全学同窓会支援・卒業生連携事業 京都大学のプレゼンス向上のための戦略的情報発信の充実 戦略的情報発信の拡大・展開事業 名勝清風荘庭園の保存・活用整備事業 京都大学基金の広報・活動支援事業
研究推進事業	研究推進戦略活性化事業 若手研究者支援事業 女性研究者養成事業 シニア・コア研究者フォローアップ事業 京都大学次世代研究者育成支援事業 ～白眉プロジェクト～ 世界トップレベル研究拠点融合研究加速支援事業 研究支援体制強化プロジェクト	基盤整備事業等	事務改革推進事業 男女共同参画推進事業 楽友会館等再生事業 職員宿舎整備事業(第2次) 環境マネジメントシステム推進事業 ～環境賦課金制度を中心とした環境負荷の低減～ 桂キャンパス整備事業 旧演習林事務室全学共用化整備事業 吉田南構内再生整備事業 ～国際交流拠点施設の整備～ 時計台周辺環境整備事業 危機管理体制の整備推進事業 農学研究科附属農場移転等整備事業 教育研究医療等施設・設備環境改善事業 全学共用施設整備事業 全学の計算機資源が集約可能な高性能、高信頼データセンター施設の実現 地震による生命の安全確保のための耐震事業 電話交換機設備整備事業 (宇治地区・熊取地区・犬山地区・病院地区)
国際化推進事業	教育国際化推進事業 国際化戦略推進事業 戦略的国際学術研究推進プログラム 学生の国際交流推進事業 国際交流環境整備推進事業		